

県立三好病院 新高層棟の基本設計について

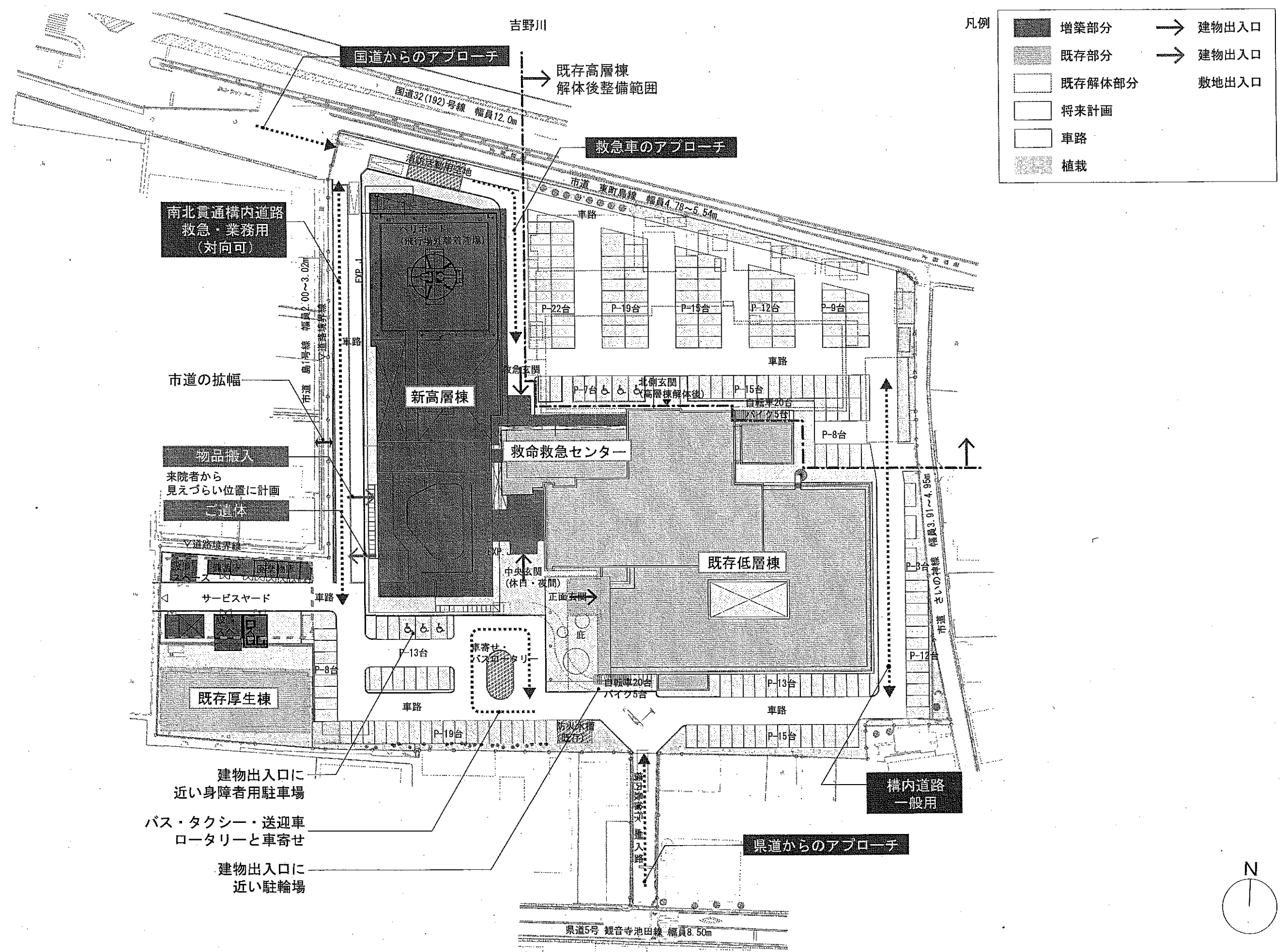
「救急医療」と「がん医療」を特色とする「四国中央部の拠点病院」を目指し、整備を進める。

1 概要

- ① 構造：鉄筋コンクリート造・免震構造
- ② 階数：8階建て
- ③ 延べ面積：約19,000㎡(うち高層棟部分約14,500㎡)
現状12,186㎡→約1.6倍
- ④ 病床数：220床
(結核8床, 感染症6床, ICU4床, HCU6床)

2 新病院の特徴

- ① 安全・安心な病院として
 - i 浸水に備え, 設備室, 栄養管理室は2階に, 病室は3階以上に設置
 - ii 屋上にヘリポートを整備(自重10tまで)
 - iii 免震構造を採用
- ② 医療機能の充実に向けて
 - i 放射線治療機器(リニアック)の設置
 - ii 周産期医療のためのスペースを確保
- ③ 快適な療養環境に向けて
 - i 十分な1床あたり面積を確保
個室, 4床室とも現在の約1.5倍
 - ii 6床室を廃止
 - iii 個室を大幅に増加 47床(21.4%)→74床(33.6%)
- ④ 誰もが利用しやすい病院として
 - i 各階に多目的トイレを設置
 - ii エレベーター台数を増加 一般用1台→2台 業務用2台→4台
 - iii 最上階に展望ラウンジを設置
 - iv 食堂, 売店を分かりやすい場所に設置



凡例

	増築部分		建物出入口
	既存部分		建物出入口
	既存解体部分		敷地出入口
	将来計画		
	車路		
	植栽		

建物構成計画

中央材料部門は2階手術部門の直上に配置します。供給、回収EVを専用で設けます。

3F
一般病棟
中央材料部門

2F
<高層棟>
手術部門
栄養管理部門
設備室

<低層棟>
ICU・HCU
管理部門(事務・院長室等)

手術部門はICU・HCUと同じ階の直近に配置し、レベル差なく移動することが可能です。

遺体や物品は目立たない位置に出入口を設けます。

1F
<高層棟>
放射線部門
聖安・創検
食堂・売店
防災センター

<低層棟>
外来部門
薬剤部門
医事・受付・会計等

食堂・売店は外からも直接利用しやすい位置に設けます。

- 病棟
- 供給
- 高層棟・低層棟
接続部分
- 管理(既存低層棟)
- 診療
- その他
- 救命救急(既存低層棟)
- 管理
- 階段・エレベータ
- 外来(既存低層棟)

設備室は洪水に配慮し、2階に配置します。

栄養管理部門は搬入に配慮し、サービスEVの近くに配置します。衛生面、利便性を考慮し、3~7階病棟の食堂に直結する配膳専用EVを設けます。

感染者用の出入口、EVを設け、一般者と交わらない動線を確保し、7階の結核・感染症病棟に直結します。

放射線部門は外来・救命救急と同じ階に配置します。

既存低層棟と新高層棟を接続する渡り廊下を2ヶ所設け、救急と外来の動線を分離します。

サービスEV3台
(ヘリポート着床は1台)

PHF
ヘリポート

8階に展望ラウンジを設けます。談話・面会・リフレッシュ等に使用します。

8F
展望ラウンジ
屋上設備スペース(屋外)

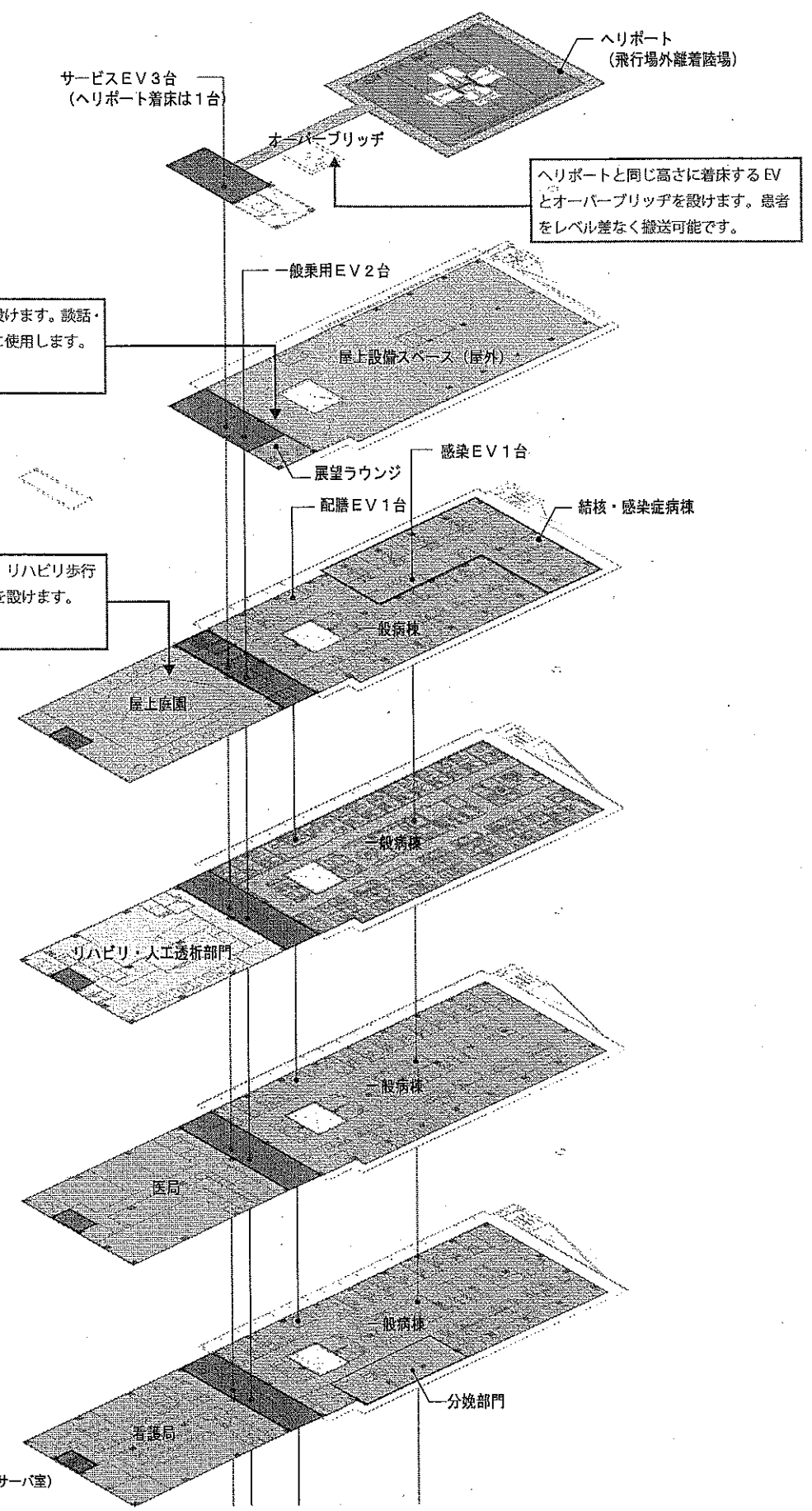
リハビリ部門の直上に、リハビリ歩行に使用できる屋上庭園を設けます。

7F
一般病棟
結核・感染症病棟
屋上庭園

6F
一般病棟
リハビリ・人工透析部門

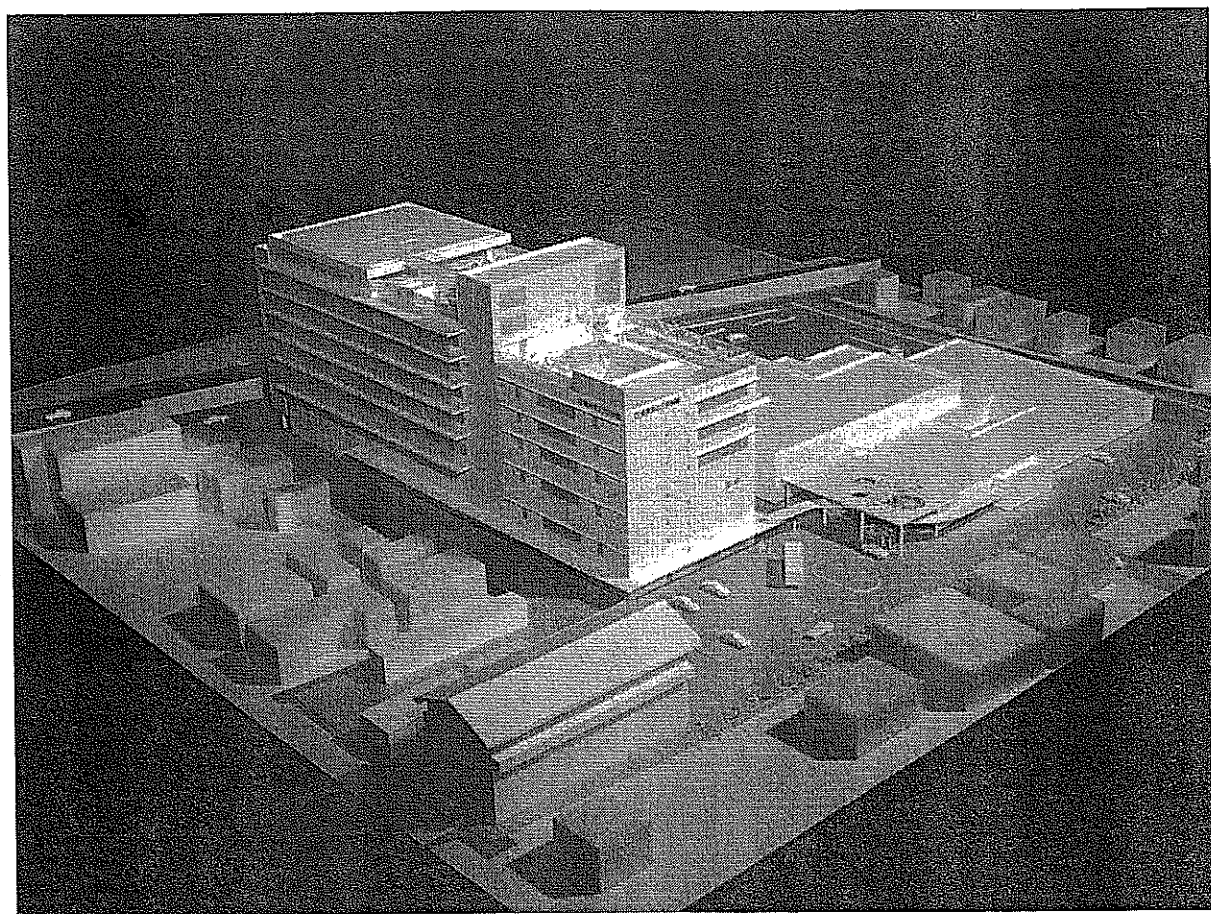
5F
一般病棟
管理部門(医局・講義室)

4F
一般病棟
分娩部門
管理部門(看護局更衣室・サーバ室)

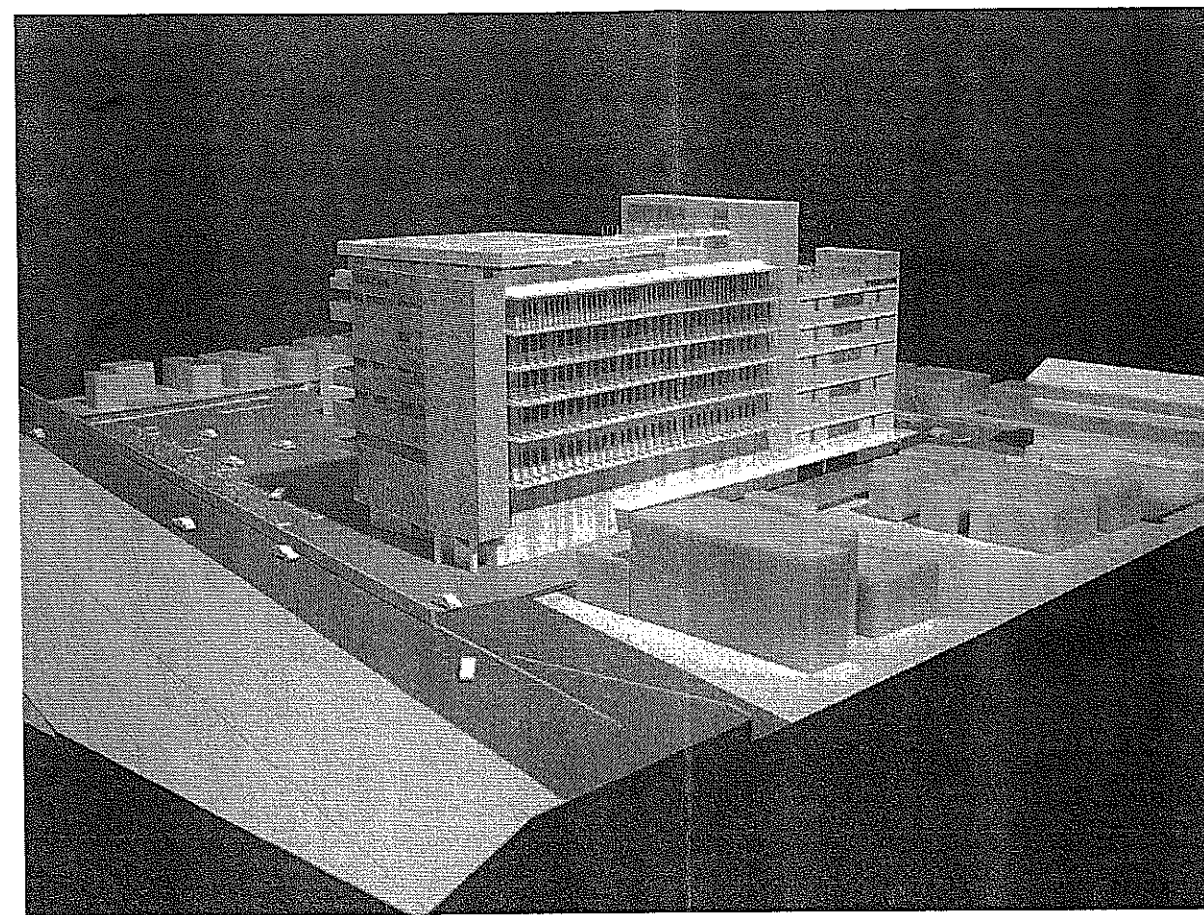


ヘリポート
(飛行場外離着陸場)

ヘリポートと同じ高さに着床するEVとオーバーブリッジを設けます。患者をレベル差なく搬送可能です。



▲南西側外観
▼南東側外観



▲北西側外観
▼北東側外観

